

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-311867  
(P2002-311867A)

(43) 公開日 平成14年10月25日 (2002. 10. 25)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	キーワード (参考)
G 0 9 F 19/00		G 0 9 F 19/00	Z 5 K 0 6 7
G 0 6 F 13/00	5 4 0	G 0 6 F 13/00	5 4 0 F
17/60	3 2 6	17/60	3 2 6
	5 0 6		5 0 6
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 B 7/26	1 0 9 M
		審査請求 有	請求項の数 4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-113117(P2001-113117)

(22) 出願日 平成13年4月11日 (2001. 4. 11)

(71) 出願人 599033162  
山本 吉伸  
東京都目黒区緑が丘2丁目3番8号  
(71) 出願人 501119481  
株式会社アルゴグラフィ  
東京都目黒区緑が丘2丁目3番8号  
(72) 発明者 山本 吉伸  
東京都目黒区緑が丘2丁目3番8号  
(74) 代理人 100077481  
弁理士 谷 義一 (外2名)

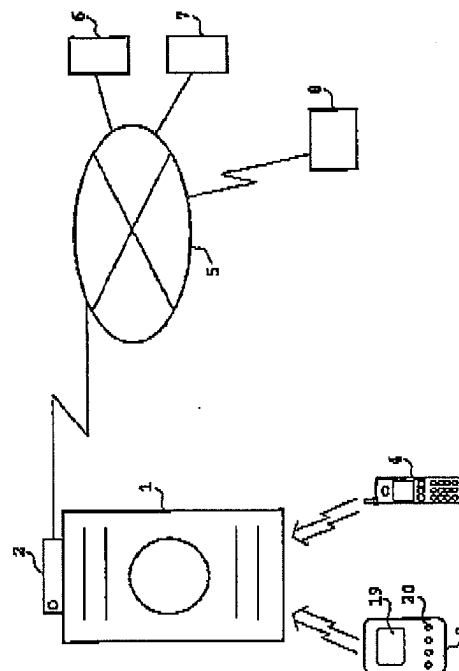
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報供給方法および広告情報制御方法

(57) 【要約】

【課題】 ポスターを見た者に対して、キックと呼ばれる簡単な操作のみで、その詳細な広告情報を電子メールで供給すること。

【解決手段】 ポスター1の設置場所の近くに至った者Aがポスター1上に表示された広告情報を見て、さらなる詳細情報が欲しいと思った場合、ポスター1 (の上の通信装置2) に向けた携帯端末3上のボタンを押す。携帯端末3から送出された固有IDが通信装置2で受信され、識別情報とともに、固有IDがインターネット5を介して情報提供サーバ6に送出される。情報提供サーバ6は、識別情報に対応する詳細な広告情報を、固有IDに対応する上記Aの所有するメールアドレスに電子メールによって送出する。Aは、情報端末8上で情報提供サーバ6から送られた詳細な広告情報を閲覧することができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告媒体に関連付けられた通信手段によって、当該通信手段に対して情報提供可能な携帯端末に記憶されている固有情報を取得し、前記通信手段から、前記広告媒体によって提供される情報に関連する情報を、前記取得した固有情報に対応するメールアドレスに送信することを特徴とする情報供給方法。

【請求項2】 請求項1において、前記通信手段は、前記広告媒体に関連付けられた位置に配置され、前記携帯端末に記憶されている固有情報を取得可能な情報転送手段と、当該情報転送手段からの前記取得した固有情報および前記広告媒体によって提供される情報を識別する識別情報をネットワークを介して受け取り、前記識別情報に対応する前記広告媒体によって提供される情報に関連する情報を、前記固有情報に対応するメールアドレスに送信する情報提供サーバとを有することを特徴とする情報供給方法。

【請求項3】 広告媒体に関連付けられた通信手段によって、当該通信手段に対して情報提供可能な携帯端末に記憶されている固有情報を取得し、前記通信手段によって、前記取得した固有情報に基づいて前記広告媒体によって提供される情報を制御することを特徴とする広告情報制御方法。

【請求項4】 請求項3において、さらに、前記通信手段によって、ネットワークを介して、前記広告媒体によって情報を提供される者に関する関連情報を取得し、前記通信手段によって、前記取得した固有情報および前記関連情報に基づいて前記広告媒体によって提供される情報を制御することを特徴とする広告情報制御方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば広告媒体によって提供される情報を見た者に当該情報に関連する詳細な情報を簡単に供給することが可能な情報供給方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】最近、例えば、駅構内やバス・電車等の移動手段内にあるポスター広告、市街地等に設けられた静止画、動画等を表示可能な電光掲示板、大画面表示パネル等に表示される広告、映画館等の中のスクリーン上に表示される広告等には、URL (Universal Resource Locator) が表示されていることが多くなっている。その理由は、限られた表示面積のポスターでは充分な情報を記載しきれないことをカバーしたいという広告提供者側の意図があるからであり、また、ポスターを見た者も、さらなる詳細情報を欲する場合もあるからである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、それらの広告媒体上のURLをメモしたりすることはほとんどの人にとって面倒な作業であり、筆記具等を持ち合わせていない場合には、記録することもできず、広告提供者側の要望は満たされないことにもなる。

【0004】また、例えば、広告媒体上に表示されている情報を見た者が、その場で、手元のPDAや携帯電話機から、広告媒体上に表示されているURLにアクセスし、必要な情報をそのPDAや携帯電話機にダウンロードして閲覧することも技術的には可能である。しかしこの場合、移動中に閲覧できるという利便性は得られるが、ダウンロードされる情報は、一般的な情報端末、すなわち、据え置き型のまたはノート型のパーソナルコンピュータで情報が閲覧されることを想定したものであり、一方、PDAや携帯電話機の画面は、通常、小さいので、操作性が制限され、提供される情報が有効に利用されないというおそれも十分にある。

【0005】したがって、本発明の目的は、広告提供者側にとっては、必要十分な情報を、当該広告を見た者に確実に提供することができ、一方、当該広告を見た者にとっては、広告媒体によって提供される情報を見ただけでは得られない詳細な情報を、簡単な操作で入手できるようにする、情報供給方法を提供することにある。

【0006】さらに、本発明の目的は、広告を見た者の前述の簡単な操作を契機として、広告情報提供者及びその提供を受ける者にとっても都合の良いような効果が得られる広告情報制御方法を提供することにある。

【0007】さらに本発明の他の目的は、外出先で見掛けたURL情報を手軽に取得するだけでなく、その情報を電子メールとして受け取ることができるようにすることによって、例えば、自宅、オフィスなどで着席後に、取得したURL情報をパソコンに取り込むといった作業を不要にし、さらにせっかく外出先で取得したURL情報を見るのを忘れてしまうということを大幅に低減させることができる情報供給方法を提供することにある。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1の発明は、広告媒体に関連付けられた通信手段によって、当該通信手段に対して情報提供可能な携帯端末に記憶されている固有情報を取得し、前記通信手段から、前記広告媒体によって提供される情報に関連する情報を、前記取得した固有情報に対応するメールアドレスに送信することを特徴とする。

【0009】また、請求項2の発明は、請求項1において、前記通信手段は、前記広告媒体に関連付けられた位置に配置され、前記携帯端末に記憶されている固有情報を取得可能な情報転送手段と、当該情報転送手段からの前記取得した固有情報および前記広告媒体によって提供される情報を識別する識別情報をネットワークを介して受け取り、前記識別情報に対応する前記広告媒体によ

て提供される情報に関連する情報を、前記固有情報に対応するメールアドレスに送信する情報提供サーバとを有することを特徴とする。

【0010】請求項3の発明は、広告媒体に関連付けられた通信手段によって、当該通信手段に対して情報提供可能な携帯端末に記憶されている固有情報を取得し、前記通信手段によって、前記取得した固有情報に基づいて前記広告媒体によって提供される情報を制御することを特徴とする。

【0011】請求項4の発明は、請求項3において、さらに、前記通信手段によって、ネットワークを介して、前記広告媒体によって情報を提供される者に関する関連情報を取得し、前記通信手段によって、前記取得した固有情報および前記関連情報に基づいて前記広告媒体によって提供される情報を制御することを特徴とする。

【0012】  
【発明の実施の形態】図1は本発明を適用可能なシステムを示す図である。

【0013】図1において、1は例えば、駅構内、商店の店頭等に設置された所定の広告情報（画像および文字（URLを含み、さらに、詳細は後述するが所定の文字情報を含む））を表示したポスター（電子掲示板でも良い）、2はポスター1に近接して（この例ではポスターの上端に）設けられた通信装置である。3は携帯端末であって、詳細は後述するが、本発明による情報の供給を受けようとする個人が所有するものである。4は、通信手段を有するPDA、携帯電話機、PHS等の携帯端末であって、携帯端末3の代りに用いられる。

【0014】5はインターネット、6はインターネット5上の情報提供サーバであって、インターネット5を介して通信装置2から送出されたデータを受信する。情報提供サーバ6は、インターネットを介して情報の授受が可能なコンピュータシステムから構成される。7はインターネット5上のメールサーバである。8はインターネット5（上のインターネットサービスプロバイダ）に接続可能な情報端末であって、この情報端末8は、通常は、本発明による情報の供給を受けようとする個人が所有するものであり、例えば、モデム等の通信手段、ディスプレイを具えたパーソナルコンピュータである。

【0015】本システムの基本動作は次の通りである。

【0016】すなわち、ポスター1の設置場所の近くに至った者Aがポスター1上に表示された広告情報を見て、さらなる詳細情報が欲しいと思った場合、ポスター1（上の通信装置2）に向けた携帯端末3または4上のボタンを押す（以下、これをキック操作ともいう）。これによって、携帯端末3または4から送出された固有IDが通信装置2で受信され、通信装置2内のポスター1上の表示広告情報を識別する識別情報とともに、固有IDがインターネット5を介して情報提供サーバ6に送出される。これを受けた情報提供サーバ6においては、

識別情報に対応する詳細な広告情報を、固有IDに対応する上記Aの所有するアカウントのメールアドレス（のメールサーバ7）に電子メールによって送出する。上記Aは、自宅に帰ってから、情報端末8を操作して、インターネットに接続し、自己の所有するアカウントのメールアドレスにアクセスすることによって上記情報提供サーバ6から送られた詳細な広告情報を入手することができる。

【0017】このように、ポスター1を見て、携帯端末3のボタンを単に押すだけで、ポスターを見るだけでは得られない詳細な情報を、適当な時間に、いつでも、電子メールによって、ゆっくり閲覧することができるようになる。たとえば、出先から自宅やオフィスなどに戻ったあとに、（情報が電子メールですでに到着しているので）忘れることなくそれを閲覧することができる。

【0018】なお、固有IDとメールアドレスは、事前に、情報提供サーバ6（内のメモリ）に登録（取得）しておく必要がある。その登録方法としては、例えば、その情報提供サーバ6の運用者の管理するインターネット上のWebページ上で登録手続を公開し、登録希望者が、適当な情報端末を操作して、インターネットを介して当該Webページにアクセスし、当該ページ上で指示される所定の手続に従うことによって固有IDを取得し、且つ当該固有IDとメールアドレスを登録することができる。さらにこの際、あるいは以後のいつでも（同様にして）、登録希望者の例えば、好みのキーワード（たとえば、趣味、嗜好等に関するもの）を合わせて登録することもできる。取得した固有IDは、携帯端末3の場合は操作部（後述）を操作して入力して内部のメモリに記憶させておく。PDAの場合（携帯端末4）も同様である。携帯電話機、PHS機の場合（携帯端末4）には、固有IDとして所定の個数の数字の組み合わせを適用することができ、キック操作のときに、この固有IDを入力して発呼することになる。固有IDは携帯端末3に固有のものであってもよく（予め携帯端末3、4内のメモリに記憶されている）、この場合は、その固有IDとメールアドレスを上述のようにして登録することができる。

【0019】さらに、識別情報とこれに対応する詳細な広告情報も、事前に、情報提供サーバ6（内のメモリ）に登録しておく。その登録は、サーバ内に情報を登録する周知の手法によって、例えばインターネットを介して適当な情報端末からの操作によって行うことができる。

【0020】図2は通信装置2の具体的なブロック構成を示すものであり、携帯端末3または4との間で通信を行う手段と、インターネットに（直接またはインターネットサービスプロバイダ等を介して、さらに、有線または無線で）接続し情報の送受信を行う手段とを具えたコンピュータシステムから基本構成されている。

【0021】図2において、9は本通信装置全体の動作

①

(4)

特開2002-311867  
6

を制御するCPU、10はCPU9の実行プログラムを格納したROM、11はCPU9の作業領域(後述する受信部、接続部との間の送受信データの一時記憶領域、表示器への表示データの一時記憶領域)を提供するRAMである。12は通信部であって、携帯端末3からの信号を受信する受信部を有し、この受信部が受信した携帯端末3からの受信データは、RAM11に一時記憶される。13はインターネット5に(直接またはインターネットサービスプロバイダ等を介して、さらに、有線または無線で)接続する接続部であって、情報提供サーバ6に転送すべきデータを定期的または携帯端末3からの信号を受信する毎にインターネット上に送出して情報提供サーバ6に供給し、さらに、必要に応じて、定期的にまたは情報提供サーバ6へのデータ転送時に情報提供サーバ6からの信号を受信する。

【0022】14は必要に応じて設けられる表示部であって、必要数のLED(発光ダイオード)を具えており、さらに、ポスター1が電子掲示板のような電子的に制御されるような形態のものである場合は、このようなものも含むことができる(すなわち、CPU9によって電子掲示板等の画像表示を制御する)。

【0023】通信部12内の受信部は、携帯端末3または4からの信号が赤外線信号である場合に対応すべく、当該赤外線信号の受信手段を具えており、さらに、携帯端末3または4からの信号が電波信号である場合に対応すべく、当該電波信号の受信手段を具えている。受信部は以上の2つの受信手段のいずれか一方を具えているだけでも良い。以上は受信部の基本構成であり、後述するように、ポスター1上の広告情報の表示形態に応じて、種々の応用例がある。

【0024】図3は、携帯端末3の具体的ブロック構成を示すものであり、この携帯端末3は、電池を電源として動作し、例えば、ICカード状の外観およびサイズを有しているが、外観およびサイズ等は、携帯および収納等に便利な状態であれば良く、任意である。図3において、15は本携帯端末3の全体の動作を制御するCPU、16はCPU15の実行プログラムを格納したROM、17はCPUの作業領域を提供するRAMである。18は通信部であって、ROM16またはRAM17内に記憶された固有ID(すなわち、この固有IDは、端末3に固有の、またはこの端末3を操作するユーザに固有のIDである)を赤外線または電波によって送出する送出手段を有する。19はLCD等の表示器、20は必要個数のボタンまたはテンキー等を有する操作部であって、例えば、この操作部上の所定のボタンを押すことによって、前記固有IDを示す信号が通信部18から送出される。

【0025】以上は携帯端末3の基本構成であって、後述するように、応用的なプログラムによって、操作部20上の所定のボタン等を押して表示器19上に例えばメ

ニューを表示し、操作部20上の所定のボタン等を押してそのメニューにしたがった所定の信号(例えばYesまたはNoを示す信号)を通信部18から送出したり、後述する自動キック動作を選択(設定)することができる。

【0026】情報提供サーバ6は、通信装置2からの信号を受信する毎に、受信した識別情報に対応する詳細な広告情報を、同じく受信した固有IDに対応するアカウントのメールアドレス(のメールサーバ7)に送出する。

【0027】本発明は、前述した基本的な動作の他に以下に説明するような種々の応用例がある。

【0028】1. ユーザが、ポスター1の前で、前述したように固有IDを送出すべく携帯端末4上の所定のボタン(発呼ボタン)を押すと、固有IDが通信装置2に送出され、所定の情報が情報提供サーバ6に送出され、これに回答して情報提供サーバ6から詳細広告情報が固有IDに対応するメールアドレスに電子メールで送出される。このとき、ユーザの手持ちの携帯端末4が、その場でインターネットにアクセスできる形態のものである場合は、その携帯端末4から情報提供サーバ6の管理するWebページにアクセスして、ダウンロード用の情報の送付を受けるようにすることもできる。

【0029】2. 携帯端末3または4(のメニューから選んで)、同携帯端末に、所望のキーワードやカテゴリーを入力(記憶)または設定して、これらに関して自動キックの設定をすることで、ユーザが設定したキーワードやカテゴリー等に関連するポスターの付近を通りかかったときには、ユーザが携帯端末を操作することなく、自動的に上述の基本動作と同じ効果を得ることができる。すなわち、この場合は、まず、通信装置2においては、キーワードやカテゴリーデータを、ポスター設置場所から所定の範囲をカバーする電力の(携帯端末が受信可能な周波数の)微弱電波で常時送信しておく。また、携帯端末では、通信部18(携帯端末4では同様の通信部)を常時受信状態かつ、受信データと内部の記憶または設定したキーワードやカテゴリーデータとの比較を可能にしておき、ユーザが同ポスターの近傍を通りかかった場合は、受信したキーワードやカテゴリーデータと、内部の記憶または設定したキーワードやカテゴリーデータとの比較結果が一致するので、この場合、内部メモリに記憶した固有IDを通信部18から電波信号で送出する。これによって、この送出された信号を通信装置2の通信部12が受信することができるので、以降は上述した基本動作と同様にして処理が進むことになる。

【0030】3. ポスターを見た固有IDを送出可能な携帯端末を持たないユーザがさらなる詳細広告情報を望むときには、通信装置2に割り振られた電子メールアドレス(例えば、これは、同ポスター上の所定の箇所(例えば下端)に、例えば、「キック端末をお持ちでないと

きは、次のメールアドレス（\*\*\*\*@#####. & &）にメールを送付してください。」というようなメッセージを表示しておく）に対してメールを送付することで、上述した基本動作と同様の効果を得ることができる。

【0031】4. 1つのポスター内の複数の場所に、携帯端末から送出される固有IDを示す赤外線を受信するための赤外線センサを各々取り付け、各赤外線センサからの受信信号を通信部12で識別可能に受信する。そして、ポスター上の1つの赤外線センサの取り付け位置に、たとえば「商品\*\*\*を###することに賛成の方はこちらをキック（またはメールをxxx@domain.comへ送付）してください」というようなメッセージを表示し、また、ポスター上の他の1つの赤外線センサの取り付け位置に、たとえば「商品\*\*\*を###することに反対の方はこちらをキック（またはメールをzzz@domain.comへ送付）してください」というようなメッセージを表示し、さらに、ポスター上のさらに他の1つの赤外線センサの取り付け位置に、たとえば「商品\*\*\*を###することに賛成でも反対でもない方はこちらをキック（またはメールをyyy@domain.comへ送付）してください」というようなメッセージを表示する。このように表示させることで、詳細広告情報の供給とともに、効果的に利用者の動向調査等を行うことができる。なお、携帯端末から送出される赤外線信号はある程度、狭い指向性であることが望ましい。

【0032】5. 上記4と同様であるが、携帯端末から電波信号しか送出できない場合にも対応できる例として、赤外線センサの代わりに表示部14の各LEDを、上記4と同様な各メッセージの表示部分の先頭等の位置に取り付け、適当な時間間隔（例えば3秒間隔）で、各LEDを順次点灯させる。各メッセージとして、たとえば「商品\*\*\*を###することに賛成の方はこちらが点灯している間にキックしてください」、「商品\*\*\*を###することに反対の方はこちらをキックしてください」、「商品\*\*\*を###することに賛成でも反対でもない方はこちらをキックしてください」というようなメッセージを表示する。そして、固有IDを受信したときは該当するタイミングの識別情報を情報サーバに送出する。これによって、上記4と同様な効果が得られる。なお、この場合、ユーザは携帯端末上にメニュー画面が表示されなくても（メニュー画面を表示する装置を備えていなくても）、自らの意図を通信装置2に伝えることができる。

【0033】6. 上記5.に関連して、携帯端末3に固有ID送出ボタンとは別の信号送出ボタンを設けておき、この別のボタンを押して信号を送出する毎に、これを受信した通信装置2の通信部12からの信号にตอบสนองして、ポスター上の複数のLED（上記各メッセージに対

応している）を順次点灯させるように表示部14を制御することもできる。

【0034】7. 携帯端末3を所持し、さらに、電子メールを受信可能な端末（たとえば、インターネットに接続して電子メールを受信、閲覧可能な動作モードを有する携帯電話機等）を所持しているユーザの場合には、携帯端末3によって、まずキック操作をし、これにตอบสนองした、情報提供サーバ6からの詳細広告情報を、同じく所持する電子メールを受信可能な端末で受信することもできる。これによって、携帯端末3による簡単な操作と必要な情報をその場で見るということができるといった利便性の両方が満たされることになる。

【0035】8. 情報提供サーバ6には、ユーザがなにをキックしたかのプロファイル（すなわち、通信装置2から送られてくる当該広告に対応した識別情報、ユーザが選択した情報およびユーザの固有ID）が蓄積される。そこで、このプロファイルに基づいて、さらに、必要なら、固有ID登録者が合わせて登録したキーワード等を参照して、あらかじめ情報提供サーバ6から通信装置2に制御情報を供給し、その制御情報に従って、通信装置2内のCPUが、そのとき受信した固有IDに応じて、表示部14（例えば、表示内容を随時変更可能な電子掲示板等）を制御する。これによって、携帯端末を所持したユーザがそのポスター（電子掲示板等）の近くを通りかかったときに、同携帯端末から常時送信される固有IDを通信装置2が受信し、これによって特定されたユーザ毎に（対応して）表示広告を変更することができるようになる。また、ユーザからの固有IDを受信する処理にかかわらず、例えば、前記プロファイルに基づいて、さらに、必要なら、固有ID登録者が合わせて登録したキーワード等を参照して統計処理等を行った結果を使用し、時系列的に、表示内容を変更することもできる。

#### 【0036】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、広告提供者側にとっては、必要十分な情報を、当該広告を見た者に確実に提供することができ、一方、当該広告を見た者にとっては、広告媒体上の情報を見ただけでは得られない詳細な情報を、簡単な操作で入手できるようにすることができる。さらに、これに付随して広告提供者側にとっても、当該広告を見る者にとっても、便利な都合の良い情報を広告媒体によって提供することができるようになる。さらに、外出先で見掛けたURL情報を手軽に取得するだけでなく、その情報を電子メールとして受け取ることができるので、例えば自宅、オフィスなどで着席後に取得したURL情報をパソコンに取り込むといった作業が不要になり、また、せっかく外出先で取得したURL情報を見るのを忘れてしまうということを大幅に低減させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用したシステムを示す図である。

【図2】通信装置のブロック図である。

【図3】携帯端末のブロック図である。

【符号の説明】

1 ポスター

2 通信装置

\* 3, 4 携帯端末

5 インターネット

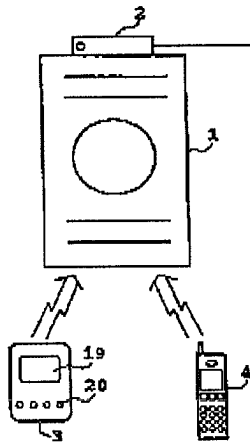
6 情報提供サーバ

7 メールサーバ

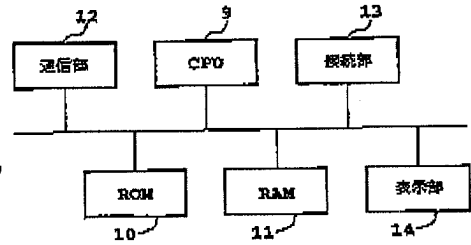
8 情報端末

\*

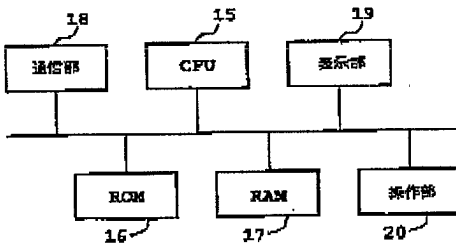
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5K067 AA21 AA34 BB04 BB21 DD17  
DD51 EE02 EE10 EE16 FF02  
HH32